

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ささしま暮らしのお寺市実行委員会
まちづくり 活 動 名	① 夏休み応援企画！こども夏まつり ② まちを知ろう！『なごや歴まちびと』と巡るガイドツアー
活 動 地 域	名古屋市中村区下米野町周辺
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 米野地区は、超高齢化による老人会の解散、町内会役員の高齢化による行事の縮小、少子化による子ども会の継続困難という現状にあり、人のつながりや世代間交流の場が減少している。 かつて地域コミュニティーの中心であったお寺が場を提供し、新たなつながりと出会いの機会を育てたいと願い、活動を開始した。
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ※以下①②は活動名番号を指す ■ 目的①米野地区における子育て支援 ②地域の魅力の再発見 ■ 目標①子どもの楽しみの場の提供/夏休みの昼食問題のお手伝い ②地域理解と住民交流 ■ 成果①子どもを見守り育む地域風土の育成 ②地域への愛着増進と孤独や孤立感の減少
活 動 内 容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入く） ① 夏休み応援企画！こども夏まつり ・ 日時：7 月 18 日(金)11～14 時（一学期終業式にあたる） ・ 場所：円福寺(中村区下米野町 3 丁目) ・ 内容：流しそうめん、縁日（わなげ、風船つりなど）を実施 愛知大学の学生サークルに運営協力を依頼。 当団体主催『ミニささしま暮らしのお寺市※ ¹ 』（以下「ミニささくら」という）開催同日に、こども夏まつりを実施することで、子どもだけでなく親も一緒に楽しめる場とすることができる。 ※ ¹ ミニささくらは「暮らしをちょっと豊かにする 出会いの場所へ」をテーマに 2024 年 5 月にはじまった、キッチンカーの他、こだわりの食べ物・手作り雑貨などのお店が 5 店舗ほど出店するミニマーケット 毎月第 3 金曜日 11～14 時に開催 会場は円福寺[下米野町 3 丁目] ② まちを知ろう！『なごや歴まちびと』と巡るガイドツアー ・ 日時：10 月 17 日(金)11～12 時半 ・ 場所：下米野町界隈 ・ 内容：名古屋歴史的建造物保存推進員(なごや歴まちびと)の寛建築設計 寛清澄氏のガイド付きまち歩きツアー 定員 15 名 ツアー後に円福寺にて昼食会を設け、参加者同士の意見交換や感想の共有を行い地域交流の場とする。 上記 2 企画とも学区回覧板でのチラシ回覧を依頼して情報周知を行い地域の方の参加を促す。

活動予定 期	2025 年 7 月～2025 年 10 月	
助成金交付申 請 額	50000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
（活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。） 米野地区では、子ども会活動の縮小や町内のおまつりの休止が続き、地域の中で子どもが集まる場が減少している。また役員の受け手がないことによる、老人会の解散が相次いでいる。そして、当団体が寺を活動会場にしている特性上、「話す人がいなくてさみしい」「一人での食事は味気ない」などの高齢者の声を耳にする機会も多く、高齢者の孤立や孤独が危惧される。 実質的な機能不全に陥っている既存の組織を超えた枠組みで、これまでにはない地域交流の場として①こども夏まつりや②ガイドツアーを実施することで、新しい人のつながりを生みだし、暮らしの中で互いに助け合える関係が育つ可能性がある。新しい枠組みでの活動をより円滑に推し進めるために、活動助成金が必要とされる。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
（活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。） ▶活動内容の具体性 ・前年度に試験的に第一回目を実施しており、内容及び予算計画が概ね出来上がっている。 【前年度実績】①2024 年 7 月 19 日 ミニさくら夏休みスペシャル わなげ会 ②2025 年 2 月 21 日 下米野のまちを知ろう！寛邸・向野橋ガイドツアー※2 ※2 登録文化財寛邸・認定地域建造物資産向野橋を寛清澄氏のガイド付きで見学。 参加者 20 名、2024 年度名古屋まちづくり公社歴史まちづくり活動助成事業として実施。 ・ガイド役の名古屋歴史的建造物保存推進員（なごや歴まちびと）・寛建築設計寛清澄氏は、下米野町在住であり、互いのまちづくりへの思いを共有しあう信頼関係ができています。 ・愛知大学学生ボランティアサークル ささしまエリアマネジメント委員会とは、2020 年から協力関係が続いており、当活動への運営補助も既に依頼済みである。 ・流しそうめんの運営協力人員と道具の借受先が確保できている。 ▶人員や規模の妥当性 ・学区区政協力委員会との良好な関係性があり、回覧板でのチラシ回覧や、有志の委員による活動協力が期待できる。 ・当団体主催『ささしま暮らしのお寺市※3』（以下「ささくら」という）の併催イベントとして実施した『下米野まち散策スタンプラリー※4』がきっかけとなり、「まち」への関心が高まっている。 ・ささくら及びミニささくらは、地域のイベントとして定着しつつあり、開催時に来場者にチラシを配布することで、地域住民を中心に多くの方に情報を伝えることができる。 ※3 ささくらは「下町をお散歩しながら楽しむお寺市」をキャッチコピーに、円福寺[下米野町 3 丁目]・長松寺[下米野町 2 丁目]の 2 会場と会場間の個人宅前に、合計 30 店程が出店するマーケット。初回開催は 2023 年 4 月で、以後年 2 回の頻度で開催している。 ※4 下米野町界隈に設置したポイント 5 か所を回るスタンプラリー。2024 年 12 月 7 日と 2025 年 4 月 27 日に開催。12 月 7 日：参加者 100 名（2024 年度名古屋まちづくり公社 歴史まちづくり活動助成事業として実施）4 月 27 日：参加者 194 名	

審査基準③ ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
発展性 ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

▶今後の発展的な活動

- ・寛政期の村絵図に尾張国愛知郡米野村長松寺・円福寺の記載がある他、伊勢御師や伊勢信仰と米野の関りなど、絵図や古文書をテーマにした講座の実施が可能である。歴史資料を手掛かりにした地域理解の促進と、参加者交流を図る。
- ・こども夏まつりを主軸に、別な方法でも子どもの集まる場を継続的に開き、町内や学校の枠を超えた緩やかな子ども主体のグループの立ち上げを目標とする。

▶まちづくり活動への波及効果

- ・米野は登録文化財の住宅や建造物が残された歴史的界隈である一方、再開発の進むささしまライブ駅周辺からは徒歩8分、名古屋駅からは徒歩15分程度の立地条件にあり、近年新たな住民の流入が見られる。当活動が新住民の方々の地域理解の手助けとなり、旧住民と新住民の交流の橋渡しの場になることを願い、今後も活動を継続していく。
- ・ウォーカブルなまちづくりプロジェクト中川運河にぎわいゾーン地区は、米野地区から徒歩圏内にある。ウォーカブルなまちづくりの実現に関心を寄せ、米野のまちがどのようにつながっていけるのか、将来の視座を高く持ち活動を検討していきたい。

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
米野学区区政協力委員会 寛建築設計 愛知大学学生サークル ささしまエリア マネジメント委員会	回覧板による情報周知 ガイドツアーのガイド役 こども夏まつり運営補助

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2025	4	15日 打合せ	夏休み応援企画！こども夏まつり打合せ① 事前告知チラシ500枚作成
		27日 チラシ配布	ささしま暮らしのお寺市 開催 来場者に事前告知チラシ配布
	5	16日 チラシ配布	ミニささしま暮らしのお寺市 開催 来場者に事前告知チラシ配布
		打合せ	こども夏まつり打合せ②チラシ1500枚作成
	6	初旬 チラシ回覧依頼	区政へチラシ回覧依頼
		20日 チラシ配布 打合せ	ミニささしま暮らしのお寺市 開催 来場者にチラシ配布 こども夏まつり打合せ③
	7	初旬 チラシポスティング	米野学区内にチラシポスティング
		18日 こども夏まつり開催 反省会 打合せ	ミニささしま暮らしのお寺市・夏休み応援 企画！こども夏まつり 開催 ガイドツアー打合せ①チラシ1000枚作成
	8		
2026	9	初旬 チラシ回覧依頼	区政へチラシ回覧依頼
		19日 チラシ配布 打合せ	ミニささしま暮らしのお寺市 開催 来場者にチラシ配布 ガイドツアー打合せ②
	10	17日 ガイドツアー開催 反省会	ミニささしま暮らしのお寺市・ガイドツア ー開催
	11		
	12		
2026	1		
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	報償費謝金	こども夏まつり	謝礼（流しそうめん運営協力） 1名10,000円×2名	20,000
		ガイドツアー	謝礼（ガイド・寛清澄氏10,000円）	10,000
	消耗品費	こども夏まつり ガイドツアー	チラシ印刷用インク、用紙（1000枚）	14,000
		こども夏まつり	こども夏まつり縁日景品 （水風船・光る指輪・駄菓子）	5,000
		ガイドツアー	ガイドツアー後昼食交流会茶菓子	1,600
	物品費	こども夏まつり	サインボード三角コーン用 （縁日と流しそうめんの誘導看板として使用） 3,300円×2個	6600
支出合計				57,200

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。